

一年間の学びの集大成としての卒業式

校 長 細江 幸次

今年度も残すところ 2 週間余りとなりました。昨年度に続き、感染対策を講じながらの一年でしたが、入学式や修学旅行、社会見学などは感染拡大初期のころに比べて本来の形に近づけて実施することができました。これも保護者・地域の皆様のご理解とご協力によるところが大きいとともに、なかなか先が見通せない状況にあっても柔軟に対応することができた子どもたちのおかげです。残すところ、3月24日(木)の卒業式に向けて入念に準備を進め、上矢作小学校としての一年をきちんと締めくりたいと考えています。

卒業式は 6 年生児童の小学校における 6 か年の全教育課程の修了を認め、その証となる卒業証書を授与し、次なる過程へ進むことを在校生、学校職員、保護者・地域代表者一同が祝い、送り出す儀式的行事です。また、一年間の学校における教育活動の中で最も大切な行事であるともいわれています。そのためか、コロナ禍以前は 3 月に入ると多くの小学校では卒業式に向けて、たくさんの練習時間を割り、入念に準備を進めてきました。儀式的行事という側面から、姿勢や礼儀作法にも多くの時間が割かれていました。しかし、令和元年度末、新型コロナウイルス感染拡大により、突然の臨時休校。従来行われていた卒業式練習は一切行われることなく、卒業式当日を迎えることとなりました。それまで誰も体験したことのない、在校生も来賓の方々もいない中、当時の卒業生はその場にふさわしい態度で、立派に卒業式を終えることができたという話がいたるところから聞こえてきた記憶があります。

よくよく考えてみると、式中に行われる「起立、礼、着席」も毎日の朝の会・帰りの会、授業のはじめと終わりのところで行っている礼儀作法です。毎日、少なくとも 10 回はやるとしても一年間で約 2,000 回、6 年間で 12,000 回もやっている計算になります。これほど繰り返しやっているにもかかわらず、それまでの式練習で最も指導に時間が割かれるのは、このようなところだったように感じています。あまりのできなさに指導する教師のテンションは上がる一方であるにもかかわらず、子どもたちのそれは下がり続け、本来大切な行事であるはずの練習時間は苦痛を伴う時間になってはいなかったかと私は考えてしまいます。これと似たことが歌ったり話したりする際の声の大きさや速さ・明瞭さ、歩く時の所作、場の雰囲気をつくり上げる静けさや緊張感なども同様に、日頃の活動の中で大切にされていれば、あえて練習時間をそれほどとらなくてもできるのではないかと考えています。

卒業式当日は、卒業生にとっては新たな門出を祝う日となりますが、在校生や学校職員にとっては日頃の取組の真価を確かめる日でもあるのです。



Topic

■3年生の委員会・クラブ活動見学

来年度に向けて3年生の子どもたちが委員会(1/27)、クラブ活動(2/10)見学をしました。4年生からこれらの活動が加わることで、子どもたちは高学年の仲間入りの意識が芽生えてくるようです。見学を終えるとロクに入りたい委員会やクラブについて話すなど、意欲的な姿が見られました。



委員会見学



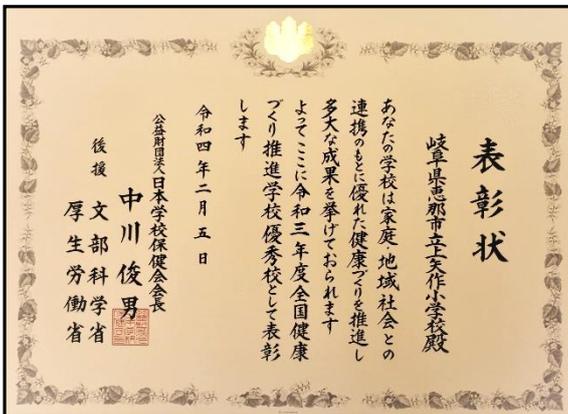
クラブ活動見学

■6年生を送る会

3月10日(木)、6年生を送る会を行いました。まん延防止等重点措置が延長されたこともあり、各学年の発表はあらかじめ学級ごとに撮影をしておき、体育館でその動画を全校が視聴する形で行いました。様々な制約がある中で、各学年とも知恵を出し合い工夫のある発表ができました。また、どの学年からも6年生一人一人に感謝の言葉を贈ることができ、心温まる会となりました。



■伝達表彰式



学校報「大船山 No.19」でお伝えした全国健康づくり推進学校表彰優秀賞の伝達表彰式が2月25日(金)に本校校長室にて行

われました。恵那市教育長様にご来校いただき、表彰状、トロフィー、記念誌が児童会保健委員長、副委員長に贈呈されました。

上矢作っ子の活躍

*第18回恵那市こども版画コンクール

- | | | | | |
|-----|----|------|----|-------|
| 奨励賞 | 3年 | 荻山泰我 | 5年 | 川上琴巳 |
| 入選 | 1年 | 鈴木拓馬 | 2年 | 小木曾杏 |
| | 3年 | 荻山七緒 | 4年 | 長谷川瑛音 |
| | 6年 | 岩崎唯葉 | | |



荻山泰我さんの作品



川上琴巳さんの作品